

<u>ファイル名</u>	SmtplibClient.vbp
<u>プロジェクト名</u>	VBSmtplibClient (ActiveX DLL)
<u>クラス名</u>	winTcpClient
<u>モジュール名</u>	winTcpClient.frm (フォームモジュール)

説明

TCP クライアントの機能を、Winsock コントロールを用いて実現している。基本的に、ASCII 7bit 文字列のみを扱うことを前提としており、バイナリデータの送受信はできない。また、このクラス（フォーム）は、プロジェクト外には、公開されていない。

キーワード

TCP、クライアント、Winsock コントロール

<u>メソッド名</u>	Connect
<u>引数</u>	ByVal strServerName As String, ByVal intServerPort as Integer
<u>説明</u>	strServerName で指定された TCP サーバの intServerPort で指定されたポートに接続を試みる。

<u>メソッド名</u>	Send
<u>引数</u>	strData As String
<u>説明</u>	strData を送信する。strData は UNICODE 文字列で与えなければならず、ANSI 文字列へは自動的に変換される。バイナリデータの送信には用いることができない。

<u>メソッド名</u>	GetResponseOneLine
<u>引数</u>	strData As String
<u>説明</u>	TCP サーバから受信したデータを 1 行分取り出す。ただし、1 行の終わりは、vbCrLf で終了しているものとする。終了していなければ、vbCrLf を受信するまで待つ。複数行の受信がある場合には、呼び出し側のルーチンで、受信完了の判断をしなければならない。このメソッドでは、受信途上の 1 行なのか、最後の 1 行なのか判断できないためである。

<u>メソッド名</u>	Disconnect
<u>説明</u>	TCP サーバとの接続を切る。

<u>プロパティ名</u>	ErrorStatus
<u>戻り値型</u>	Integer
<u>説明</u>	<p>通信中に発生したエラーの発生状況を保持している。値と内容の関係は以下のとおり。</p> <p>0：エラーは発生しなかった。</p> <p>1：Winsock コントロールの Error イベントでエラーを取り扱った。</p> <p>2：エラーが発生し、On Error Goto でトラップされた。</p>

<u>プロパティ名</u>	ErrorNumber
<u>戻り値型</u>	Integer
<u>説明</u>	<p>通信中に発生したエラーのコード。</p> <p>ErrorStatus = 1 の場合、Winsock コントロールの Error イベントの第 1 引数の値となる。</p> <p>ErrorStatus = 2 の場合、Err オブジェクトの Number プロパティの値となる。</p>

<u>プロパティ名</u>	ErrorDescription
<u>戻り値型</u>	String
<u>説明</u>	<p>通信中に発生したエラーの内容。</p> <p>ErrorStatus = 1 の場合、Winsock コントロールの Error イベントの第 2 引数の値となる。</p> <p>ErrorStatus = 2 の場合、Err オブジェクトの Description プロパティの値となる。</p>